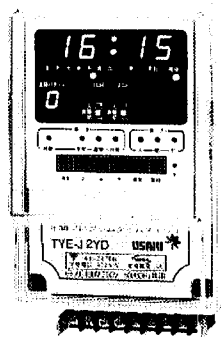


OSAKI ELECTRIC CO.,LTD.

取扱説明書

電子式
年間プログラムタイムスイッチ

TYE-J1YD, TYE-J1YDV
TYE-J2YD, TYE-J2YDV
TYE-J4YD, TYE-J4YDV



ご購入の際は、大崎電子式年間プログラムタイムスイッチをお買いあげただけでなく、誠にありがとうございます。

本装置を正しく使っていただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

また、お読みになったあとは、必ず保存していただきますよう、お願い申し上げます。

大崎電気工業株式会社



目 次

1. 安全上のご注意	1
2. 各部の名称と機能	5
2-1 本体	5
2-2 表示部および設定スイッチ	6
3. 取付方法	7
3-1 カバーの取り外し	7
3-2 表面取付形の場合	7
3-3 埋込取付形の場合	7
4. 接続	8
4-1 接続手順	8
4-2 端子配置図	9
4-3 適用電線と圧着端子	10
5. 接続例	11
6. 機能について	12
6-1 プログラムの構成	12
6-2 日間パターン	12
6-3 週間プログラム	13
6-4 年間プログラム	14
6-5 時計	15
6-6 手動操作	15
7. 設定および確認と消去	16
7-1 カレンダー	16
7-1-1 日時の設定	16
7-1-2 時計の30秒修正	17
7-1-3 時計の表示	17
7-2 日間パターン	18
7-2-1 日間パターン1~8の設定	18
7-2-2 日間パターン9 (サイクル動作) の設定	18
7-2-3 日間パターン0について	21
7-2-4 日間パターンの表示	22
7-2-5 設定内容の消去	22

7-3	週間プログラム	23
7-3-1	週間プログラムの設定	23
7-3-2	週間プログラムの表示	24
7-3-3	週間プログラムの変更	24
7-3-4	週間プログラムを使用しない時	24
7-4	年間プログラム	25
7-4-1	年間プログラムの設定	25
7-4-2	年間プログラムの表示	26
7-4-3	年間プログラムの消去	26
7-5	全プログラムの消去	26
8.	手動操作	26
9.	外形寸法図	27
10.	停電補償について	28
11.	構成	28
12.	保証期間	28
13.	仕様	28




1. 安全上のご注意

- ・ご使用になる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- ・ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ・表示とその意味は次のようになっています。

表 示	表 示 の 意 味
 危険	誤った取扱を行った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合を示します。
 注意	誤った取扱を行った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の障害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および、物的損害のみの発生が想定される場合を示します。

物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を意味します

図記号の例

図 記 号	図 記 号 の 意 味
	◇は危険を示します。 具体的な内容は◇の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
	⊘は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な内容は⊘の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
	●は強制（必ずすること）を示します。 具体的な内容は●の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「一般の義務的行為」を示します。

■施工上の注意事項

⚠ 危険

●電気工事は有資格者（電気工事士）が行うこと



専門業者

工事に不備があると火災や感電などの事故の原因となります。

●必ず保護装置を設置すること



保護装置設置

取り付け電気工事は「電気設備に関する技術基準」、
「労働安全衛生規則」などの関連法規に従って、電源側に保護装置（ブレーカ等）を設置してください。
工事に不備があると火災や感電などの事故の原因となります。

●配線工事は保護装置を「切」にして行うこと



感電注意

感電などの事故の原因となります。

●定格以上の負荷および三相負荷を制御する場合には、電磁開閉器等を併用すること



施工注意

火災などの事故や本体の故障の原因となります。

- ・端子ねじは確実に締め付けること
- ・ゆるみがあると火災の原因になります

- 配線工事を行う時には必ず取扱説明書を読んで、それに従うこと



取扱説明書確認

感電などの事故や負荷機器の物的損害などの原因になります。

■使用上の注意事項



危険

- 設定などで保護装置を「入」にする場合には、特に負荷側の安全を確認すること



感電注意

感電などの事故や負荷機器の物的損害などの原因になります。

- 端子カバーは必ず取付けること



感電注意

端子や電源に直接触れて、感電などの事故の原因となります。

- 導電物(金属棒、クリップ、シャープペンの芯など)の先でリセットスイッチを押さないこと



感電注意

感電、火災などの事故や本体の故障の原因となります。

禁止

● 次のような場所での使用をしないこと

- ・ 周囲温度が -10°C ～ $+50^{\circ}\text{C}$ の範囲を越える所
- ・ 周囲湿度が85%を越える所や、85%以下でも結露する所
- ・ 水がかかったり、直射日光（紫外線）が当たる所
- ・ 振動や衝撃の多い所
- ・ ノイズやサージを発生する機械のある所
- ・ 強電界、強磁界の発生する所
- ・ 油、油煙のかかる所
- ・ 埃（特に鉄粉やカーボンなどの導電性の粉塵）やアンモニア、亜硫酸ガスなど腐食性ガスの多い所

誤動作、寿命低下、事故の原因となります。

■ 保守・点検・廃棄上の注意事項

注意

● 保守・点検は電気工事士の資格を有する者が行うこと



点検確認

保守・点検は定期的に（年1回程度）行ってください。端子の締め付けが緩んでいたりと火災などの事故の原因となります。

● 分解、改造やご自身での修理は行わないこと



分解禁止

感電、火災などの事故や本体の故障の原因となります。

● 異常が起きた時には電源側の保護装置（ブレーカ等）を切り、電気工事士の資格を有する者に連絡すること



電源を切れ

そのまま使用すると火災や負荷機器への悪影響の原因となります。

● 廃棄する場合は、産業廃棄物として処分すること

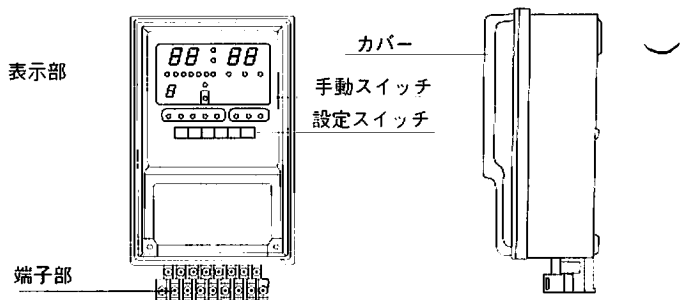


注意

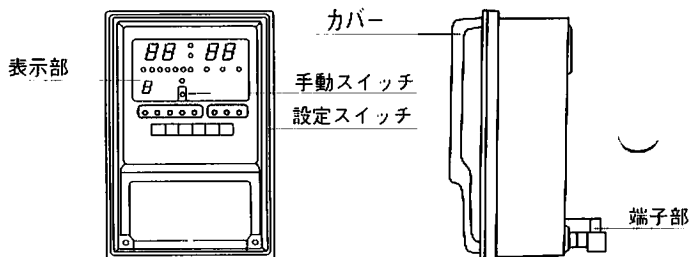
2. 各部の名称と機能

2-1 本体

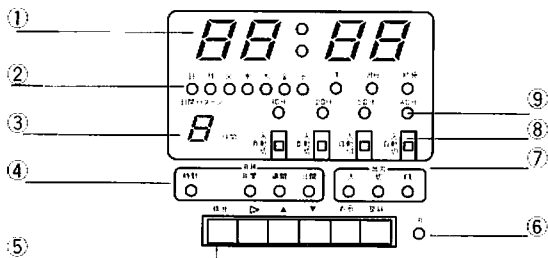
●表面取付形



●埋込取付形



2-2 表示部および設定スイッチ



各部の機能

- ①時計表示 ……年、月日、時分、及び確認プログラム時刻を表示します。
- ②曜日表示 ……現在の曜日と曜日設定のとき表示します。
- ③日間パターン表示部 ……日間パターン、週間、年間プログラムのとき表示します。
時計を表示中は下記を表示します。
・1チャンネルが動作している日間動作パターン番号が点灯します。
・表示キーを押すごとにチャンネル表示が移動し、それに対応した日間パターン番号が点滅します。
- ④項目表示 ……時計 ……時計の設定、修正中に点灯します。
……………年間 ……年間プログラム設定、確認中に点灯します。
……………年間プログラムで動作している日は点滅します。
……………週間 ……週間プログラムの設定、確認中に点灯します。
……………日間 ……日間プログラムの設定、確認中に点灯します。

(4個共消灯または年間が点滅中は時計の時分を表示し、設定等の操作はできません。)

⑤設定スイッチ

- 項目キー ……表示内容を時計、年間、週間、日間、消灯、時計の順に選択します。
>キー ……プログラムをする内容の移動を行います。
▲キー ……プログラムをする数値の増加を行います。
▼キー ……プログラムをする数値の減少を行います。
表示キー ……時計、プログラムの表示を行います。
登録キー ……時計の設定、プログラムの登録を行います。

リセットキー ……プログラムリセットを行います。

- 出力表示 ……入 ……入のプログラム設定、表示確認に点灯します。
……………切 ……切のプログラム設定、表示確認に点灯します。
……………II (パルス) 動作のプログラム設定、およびサイクル動作のスタート、ストップ表示、確認に点灯します。

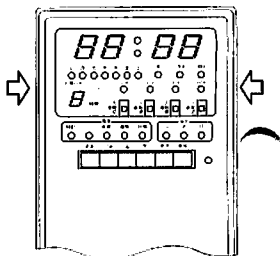
- ⑧手動スイッチ ……入 ……出力は手動によりON状態を保ちます。
……………自動 ……設定されたプログラムに従い、自動運転を行います。
……………切 ……出力は手動によりOFF状態を保ちます。

⑨CH表示 ……チャンネル設定および、出力ONしているチャンネルが点灯

3. 取付方法

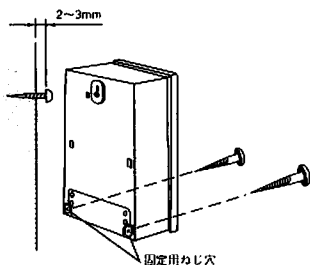
3-1 カバーの取り外し

カバーの側面（凹凸のある部分）を手で内側に押しながらカバーを引き、取り外してください。



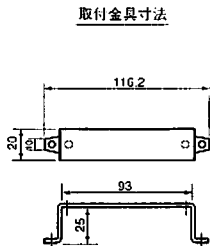
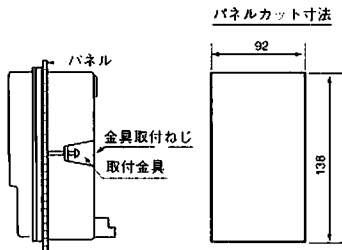
3-2 表面取付形の場合

取付ねじにダルマ穴を掛けて下の2つの固定用ねじ穴を用いて取付ねじで固定して下さい。



3-3 埋込取付形の場合

- ① 本体をパネル前面から挿入してください。
- ② 取付金具を付属のM3ねじを使用して本体に取付けてください。
- ③ 付属のM3.5取付ねじでパネル裏面側からパネルを押さえつけるようにして止めてください。



4. 接 続



感電注意

- ・配線工事は保護装置（ブレーカ等）を「切」にして行うこと。
- ・接続終了後は端子カバーを必ず取り付けること。



注意

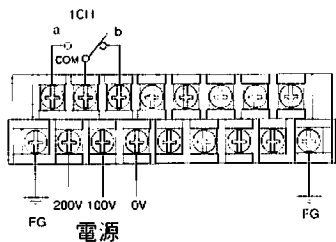
- ・端子ねじは確実に締め付けること。
適正締め付けトルク[0.65～0.8N・m(約7.4kgf・cm)]
- ・保護装置を「入」にする前に結線に誤りがないことを確認すること。
火災などの事故や本体の事故の原因となります。

4-1 接続手順

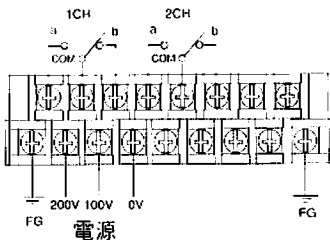
- ①保護装置（ブレーカ等）を「切」にし、電源が「OFF」になっていることを確認してください。
- ②電源線を電源端子100Vの場合は0Vと100Vの端子、200Vの場合0Vと200Vの端子に接続してください。
表面取付の場合は前面から、埋込取付の場合は背面から結線してください。
- ③安全のため手動スイッチをすべて「OFF」にしてください。（「6-6手動操作」参照）
- ④「5. 接続例」に従って負荷機器を負荷端子に接続してください。
- ⑤全ての接続が終了した後、接続に誤りがないか、また、端子ねじが確実に締めつけられているかを確認してください。
- ⑥端子カバーを取り付けてください。
- ⑦保護装置（ブレーカ等）を「入」にし、負荷機器の動作を確認してください。

4-2 端子配置図

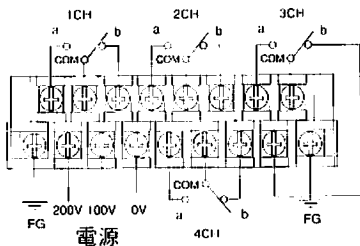
●TYE-J1YD・TYE-J1YDV



●TYE-J2YD・TYE-J2YDV



●TYE-J4YD・TYE-J4YDV



●TYE-J1YD・TYE-J1YDV, TYE-J2YD, TYE-J2YDVで、使用しない端子には、樹脂製ねじが取付けてあります。

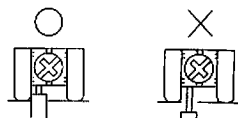
4-3 適用電線と圧着端子

(1) 端子への接続可能電線サイズと本数は次のとおりです。

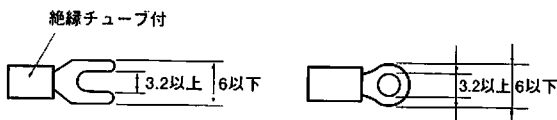
600Vビニル 絶縁電線	単線の場合	$\phi 1 \sim \phi 1.6$	2本まで
	ヨリ線の場合	$1.25\text{mm}^2 \sim 2.0\text{mm}^2$	2本まで

注) ヨリ線の場合は絶縁チューブ付圧着端子をご使用ください。

(2) 電線を直接締め付ける場合は皮むき部分 (7~8mm) が端子部から出ないようにしてください。

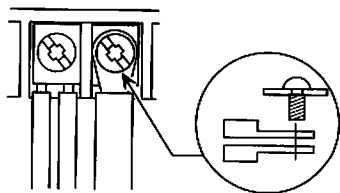


(3) 絶縁チューブ付圧着端子を使用する場合は下図の寸法のものをご使用ください。この寸法以外のもを使用すると端子部の破損等の恐れがあります。

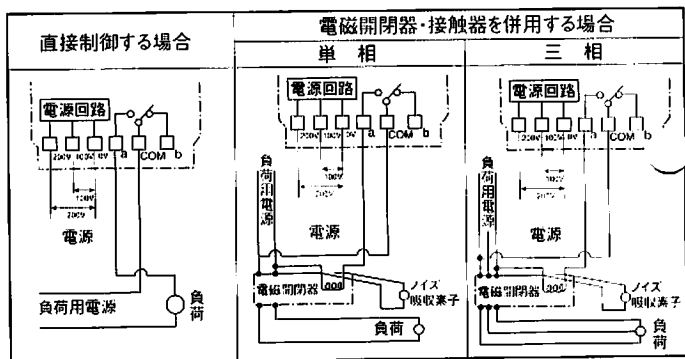


圧着端子部はご使用になる電線のサイズに合わせてお選びください。

(4) 1端子に接続する電線は最大2本とし、電線を直接締め付ける場合には、ねじの両側に差し込んでください。圧着端子の場合には背中合わせにして締め付けてください。



5. 接続例



注意

- 電源側には関連法規に従って、漏電遮断器、配線用遮断器、ヒューズなどを設置してください。
- 直流負荷の場合には、接点保護のため直接制御しないで交流電源側で制御することをお勧めします。
- 制御負荷の容量がタイムスイッチの接点容量を越える場合や接点容量以下でも抵抗負荷以外の負荷（水銀灯、白熱灯、蛍光灯、モータ等）の場合、および三相負荷の場合は必ず電磁開閉器等を併用してください。

（直接制御できる負荷の容量は、負荷の種類によって異なりますのでご注意ください。また、電磁開閉器は投入時の励磁電流が誘導性負荷定格を越えないものを選定してください）

- 電磁開閉器を使用する場合はコイル両端にノイズ吸収素子（R+C）を接続してください。

抵抗R：100～150Ω、コンデンサC：0.1μF

当社推奨品：日本通信工業（株）製CR2B104C121（125V定格）
CR2E104C121（250V定

岡谷電機産業（株）製S-1201（150V定格）
XF-1201（250V定格）

- 電源端子に電圧を印加した場合、使用していない電源端子からも電圧が出ていますのでご注意ください。

6. 機能について

本機は年月日時分及び曜日の時計を基準とした年間プログラムタイムスイッチで出力回路毎に、通常は曜日を基準にプログラムした時刻（時分）に出力接点を制御します。

また、祭日、振替休日、夏冬休み等は年間プログラムにより、実際の曜日とは異なる任意の動作パターンで動作できます。

6-1 プログラムの構成

日間パターンプログラム

日間パターン	0
◇	1
◇	2
◇	3
◇	9
◇	E

週間プログラム

日曜	: 日間パターン番号指定
月曜	: ◇
火曜	: ◇
水曜	: ◇
木曜	: ◇
金曜	: ◇
土曜	: ◇

年間プログラム

1月1日	: 日間パターン番号指定
1月2日	: ◇
1月3日	: ◇
1月4日	: ◇
12月30日	: ◇
12月31日	: ◇

1. 日間パターンは1日の動作を決めるプログラムです。
2. 週間、年間の各プログラムで日間パターン番号を指定し、毎日の動作を決定します。
3. 1日の動作は週間よりも年間プログラムを優先して動作します。
従って、年間プログラムが設定してある日は週間プログラムを無視します。

6-2 日間パターン

1. 日間パターンは0～9の10種類あり、1日（0時～23時59分）の動作を動作パターン1～9にプログラムします。（1、2、3、4チャンネル 合計）
2. 日間パターン1～8までは、各日間パターンごとに60ステップ（ON、OFF 合計）まで設定できます。
3. 出力動作は、ON、OFF、パルス（約2秒間ON）が設定できます。
4. 日間パターン9はサイクル動作です。
5. 日間パターン0は前日の最終制御状態を保持するプログラム（非動作）で動作設定はできません。
（前日の最終制御が「OFF」の時には「OFF」状態を、「ON」の時には「ON」状態を保持します。）
6. 日間パターンE（ERASE）は、全プログラムを消去するときに使用します。

6-3 週間プログラム

1. 日～土曜日に対して動作させる日間パターン番号をプログラムします。
通常は週間プログラムで設定した日間パターンで動作します。
2. 全く動作しない日（日曜日）は日間パターン0をプログラムします。
3. 週間プログラム例

月曜～金曜 : 7時00分 ON～17時00分 OFF

土曜 : 7時00分 ON～12時00分 OFF

日曜 : 非動作(日間パターン)

下記のように日間パターン及び週間プログラムを設定します。

1) 日間パターンの設定

日間パターン1 =	7 : 0 0	ON
	1 7 : 0 0	OFF
日間パターン2 =	7 : 0 0	ON
	1 2 : 0 0	OFF

2) 週間プログラムの設定

月曜～金曜 : 日間パターン 1 (7時にON、17時にOFF)

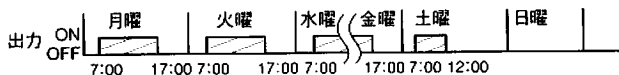
土曜 : 日間パターン 2 (7時にON、12時にOFF)

日曜 : 日間パターン 0 (非動作)

最後の動作を保持しているので、日曜は設定しなくても可

3) 動作図

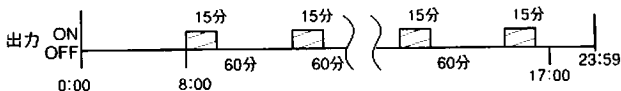
①日間パターン0から8で制御した場合



②日間パターン9（サイクル動作）で制御した場合

サイクルパターン動作図

(日間パターン9=8:00～17:00の間で15分ON、60分OFFを繰り返す場合)



指定の時間帯以外はOFF動作となります。

6-4 年間プログラム

1. 祭日、振替休日、夏冬休、臨時休日等、曜日と無関係に動作させた日に
対し、月日と日間動作パターンを下記の様にプログラムすると平日を休日
パターン、休日を平日パターン等に変更できます。
1月2日 (木) : 日間パターン0
1月3日 (金) : 日間パターン0
3月12日 (水) : 日間パターン0
12月28日 (日) : 日間パターン1
2. 年間プログラムで1月1日から12月31日までの毎日に10種の日間パターン
を設定すると、年間プログラムのみの動作もできます。
週間プログラムは日曜～土曜を日間動作パターン0 (週間プログラム無効)
に設定します。
3. 特殊な年間プログラムの設定例 (日渡り制御)

12月28日 17時00分 ON

1月4日 7時30分 OFF

1) 日間パターン1 : 17時00分 ON

日間パターン2 : 7時30分 OFF

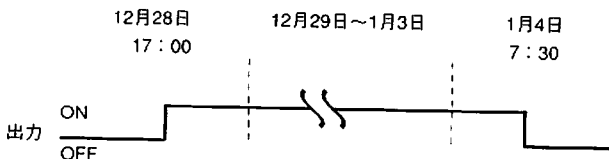
2) 年間プログラム

12月28日 : 日間パターン1 (17時00分 ON)

1月4日 : 日間パターン2 (7時30分 OFF)

週間プログラムで12月29日から1月3日までの間の曜日を日間パターン
0に設定するか、12月29日から1月3日までの年間プログラムを日間パ
ターン0に設定してください。

3) 動作例



6-5 時計

- 年（西暦）、時、分、曜日の時計で閏年も含めて2099年まで更新します。

6-6 手動操作

- テスト動作等の場合、設定されているプログラムと無関係に、各回路毎に手動操作で出力を制御できます。

7. 設定および確認と消去

7-1 カレンダー

7-1-1 日時の設定

・図中の \square 部分は点滅を表します。

例 97年10月22日09時10分、水曜日に設定する場合

設定手順

- ①「項目」キーを押して時計のLEDを点灯させます。
・表示部に時計の秒を表示します。(図1-1)
- ②「▷」キーを押してください。
動作している時計の年の値(西暦下2桁)を点滅表示します。
- ③「▲」「▼」キーで“97”に設定(図1-2)して「▷」キーを押してください。
・“97”の表示ならばそのまま「▷」キーを押してください。
・月日を表示し、月の設定部が点滅します。
- ④「▲」「▼」キーで“10”月に設定(図1-3)して「▷」キーを押してください。
・“10”の表示ならばそのまま「▷」キーを押してください。
・日の設定部が点滅します。
- ⑤「▲」「▼」キーで“22”日に設定(図1-4)して「▷」キーを押してください。
・“22”の表示ならばそのまま「▷」キーを押してください。
・時刻を表示し、時の設定部が点滅します。
- ⑥「▲」「▼」キーで“9”時に設定(図1-5)して「▷」キーを押してください。
・“9”の表示ならばそのまま「▷」キーを押してください。
・分の設定部が点滅します。
- ⑦「▲」「▼」キーで“10”分に設定(図1-6)して「登録」キーを押してください。
・10の表示ならばそのまま「登録」キーを押してください。

図1-1

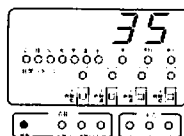


図1-2

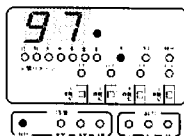


図1-3

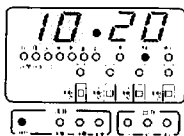


図1-4

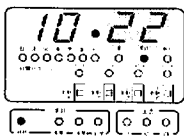


図1-5

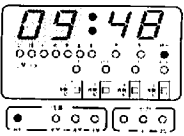


図1-6

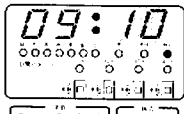
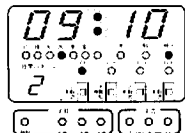


図1-7

- 曜日が自動設定（図で水曜）され時分の間が秒点滅します。
- 水曜日にに対して設定した1CHの日間パターンを表示します。
- 現在の出力状況を表示します
（図では1CH ON, 2, 3, 4CH OFF）
- 項目のLEDは消灯します。（図1-7）ただし、この日が年間プログラムで動作している場合は年間のLEDが点滅します。



注：「登録」キーは、分の設定部が点滅している時のみ有効となりますので、必ず分の設定状態で「登録」キーを押してください

7-1-2 時計の30秒修正

・本操作で30秒以内の誤差が修正できます。

●操作方法

- 「項目」キーを押して時計のLEDを点灯させ、秒表示にして下さい。（図1-1）
- 正分（00）の時「登録」キーを押すと下記のように修正され、時刻表時になります。
- ・表示が00～29秒の間の場合には00秒に戻ります。
- ・表示が30～59秒の間の場合には00秒に進み、分が1分進みます。

7-1-3 時計の表示

時計表示以外の表示をしている場合、最後のスイッチ操作から3～4分後に項目のLEDが全て消灯し、時計表示（図1-7）になりますが、直ちに表示したい場合には項目のLEDが消灯（ただし、この日が年間プログラムで動作している場合には年間のLEDが点滅）するまで「項目」キーを押してください。

7-2 日間パターン

7-2-1 日間パターン1~8の設定

・図中の点滅部分は点滅を表します。

例1 07時10分 OFF を設定する場合

●操作手順

①「項目」キーを押して日間のLEDを点灯させてください。

・日間パターンの表示部が点滅します。

②「▲」「▼」キーで日間パターン表示部に「1」を点滅させてください。(図2-1)

・変更しないときはそのまま「>」キーを押してください。

・時の設定部が点滅します。

③「▲」「▼」キーで「07」時にして(図2-2)「▷」キーを押してください。

・変更しないときはそのまま「▷」キーを押してください。

・分の設定部が点滅します。

④「▲」「▼」キーで「10」分にして(図2-3)「▷」キーを押してください。

・変更しないときはそのまま「▷」キーを押してください。

・出力の設定部が点滅します。

⑤「▲」「▼」キーで「切」に設定して(図2-4)「登録」キーを押してください。

・これでプログラム登録が終了しました。今設定した内容が表示され、日間パターンが点滅します。

(図2-5)

⑥上記②~⑤の操作を行って、次のプログラムを設定してください。

図2-1

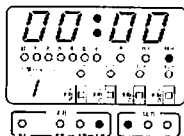


図2-2

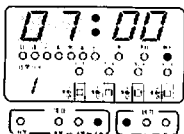


図2-3

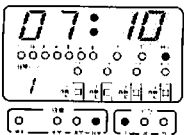


図2-4

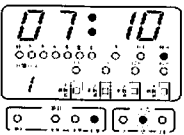
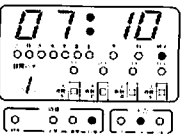


図2-5



例2 日間パターン2に、09時30分にパルス出力を設定する場合

図2-6

●操作手順

- ①「項目」キーを押して日間のLEDを点灯させてください。

・日間パターンの表示部が点滅します。

- ②「▲」「▼」キーで日間パターン表示部に“2”を点滅させてください。(図2-6)

・変更しない時はそのまま「▷」キーを押してください。

・時の設定部が点滅します。

- ③「▲」「▼」キーで“09”時にして(図2-7)「▷」キーを押してください。

・変更しない時はそのまま「▷」キーを押してください。

・分の設定部が点滅します。

- ④「▲」「▼」キーで“30”分にして(図2-8)「▷」キーを押してください。

・変更しない時はそのまま「▷」キーを押してください。

・出力の設定部が点滅します。

- ⑤「▲」「▼」キーで“□”に設定して(図2-9)「登録」キーを押してください。

これでプログラム登録が終了しました。今設定した内容が表示され、日間パターンが点滅します。

(図2-10)

- ⑥上記②～⑤の操作を行って、次のプログラムを設定してください。

・パルス出力時間は約2秒です。

・各日間パターン番号に対し、「入」「切り」合計60ステップまで設定できます。

・同じパターン番号に例1と例2の設定を組み合わせることができます。

・61ステップ目を登録すると、全表示が点滅し、設定できません。

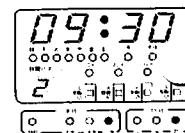
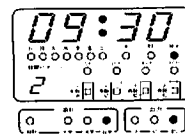
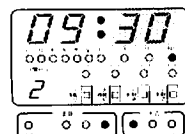
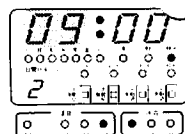
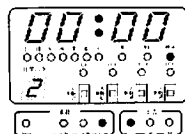


図2-8

図2-9

図2-10

7-2-2 日間パターン9(サイクル動作)の設定

○設定した時間帯において、一定の間隔でON、OFFを繰り返し制御します。

○ON時間およびOFF時間の設定範囲はそれぞれ1分～23時間59分までで、スタート時間からON時間が始まります。

・図中の点滅部分は点滅を表します。

例・8:00～16:30の間で、15分間ON、60分間OFFに設定する場合

●操作手順

- ①「項目」キーを押して日間のLEDを点灯させてください。
 - ・日間パターンの表示部が点滅します。
- ②「▲」「▼」キーで日間パターン「9」にし(図3-1)、「▷」を押してください。
 - ・時の設定部が点滅します。
- ③「▲」「▼」キーで「08」時にして(図3-2)「>」キーを押してください。
 - ・分の設定部が点滅します。
- ④「▲」「▼」キーで「00」分にして(図3-3)「▷」キーを押してください。
 - ・出力の設定部が点滅します。
- ⑤「▲」「▼」キーで「1」に設定して(図3-4)「登録」キーを押してください。
 - ・設定した数値で日間パターンが点滅します。(図3-5)
 - ・これでスタート時刻(8:00)の設定が終了しました。
- ⑥上記②～⑤の操作により、ストップ時刻(16:30)を設定してください。

図3-1

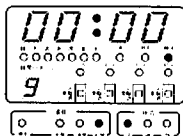


図3-2

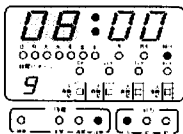


図3-3

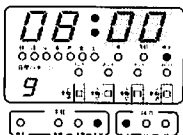


図3-4

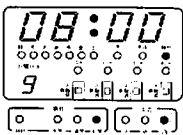
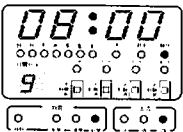


図3-5



⑦「>」キーを押してください。

・時の設定部が点滅します。

⑧「▲」「▼」キーで“00”時にして(図3-6)「>」を押してください。

・分の設定部が点滅します。

⑨「▲」「▼」キーで“15”分にして(図3-7)「>」キーを押してください。

・出力の設定部が点滅します。

⑩「▲」「▼」キーで“人”にして(図3-8)「登録」キーを押してください。

・設定した数値で日間パターンが点滅します。(図3-9)

・これでON時間(15分)の設定が終了しました。

・OFF時間の設定の場合には“切”にして下さい。

⑪上記の⑩の操作で、OFF時間の(60分)設定を行ってください。(60分の場合は1時間00分と設定します)

注1) サイクル動作は、スタート時刻、ストップ時刻、ON時間、OFF時間の4条件が揃わないと動作しません。(切 状態)です。

注2) サイクル動作のスタート時刻、ストップ時刻は、1セットのみです。

図3-6

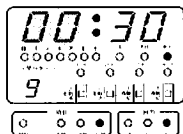


図3-7

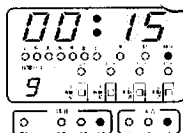


図3-8

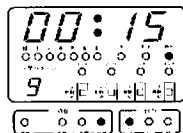
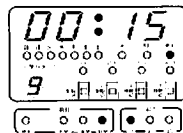


図3-9



7-2-3 日間パターン0について

○日間パターン0は直前の制御状態を1日間保持するプログラムです。“人”
“切”の設定はできません。

7-2-4 日間パターンの表示

●操作手順

- ①「項目」キーを押して日間のLEDを点灯させ、「▲」「▼」キーで表示する日間パターン番号、例えば1を点滅させてください。
- ②「表示」キーを押すごとに、日間パターン1の設定内容を時刻の早い順に順次表示します。
 - ・他の日間パターン番号のプログラムも同様に表示します。

☾ 日間パターン0は直前の制御状態を1日保持するプログラムです。

7-2-5 設定内容の消去

○下記の様に、表示しているプログラムを消去することができます。

●操作手順

- ①「7-2-4 日間パターンの表示」に従って消去したい設定内容を表示させてください。
- ②「▷」キーを押すと日間パターン番号と日間パターンEが交互に点滅します
- ③「登録」キーを押すと表示していた設定内容が消去され、次の設定内容を表示します。
- ④他の設定内容を消去する時には、①～③の操作を繰り返してください。



7-3 週間プログラム

7-3-1 週間プログラムの設定

○日～土曜日をどの日間パターンで、どの出力を動作させるかをプログラムします。

・図中の 部分は点滅を表します。

図4-1

例1 1CHを

日曜日 日間パターン3

月～金曜日 日間パターン1

土曜日 日間パターン2

に設定する場合

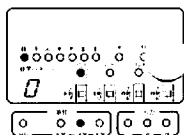


図4-2

●操作手順

①「項目」キーを押して週間のLEDを点灯させてください。

②「▲」「▼」キーで出力1CHのLEDを点滅させ、(図4-1)

「>」キーを押してください。

・変更しないときはそのまま「▷」キーを押してください。

・曜日表示部が点滅します。

③「▲」「▼」キーで曜日表示の「日」を点滅させ(図4-2)「▷」キーを押してください。

・日間パターンの表示部が点滅します。

④「▲」「▼」キーで日間パターン表示を「3」にして(図4-3)「登録」キーを押してください。

・1CHのLEDが点滅します。(図4-4)

・以上で1CHの日曜日に日間パターン3の登録が完了しました。

⑤②～④の操作を繰り返し、月曜～金曜をパターン1に、土曜日をパターン2に設定してください。

⑥他の2CH～4CHを設定する場合も同様です。

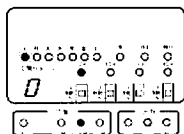


図4-3

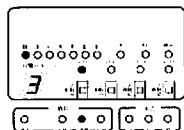
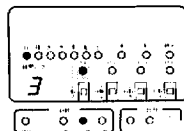


図4-4



7-3-2 週間プログラムの表示

●操作手順

- ①「項目」キーで週間のLEDを点灯させます。
- ②「表示」キーを押すと、1CHのLEDが点灯し、続けて「表示」キーを押すごとに曜日表示が日、月、・・・土、と移動し、その曜日の日間パターンが表示されます。
・1CHの表示が終ると、2CH、3CH、4CH、を順に表示します。



7-3-3 週間プログラムの変更

- 変更する場合は新しい日間パターンを再設定してください。

7-3-4 週間プログラムを使用しない時

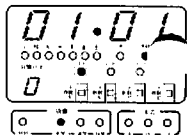
- 曜日と無関係に動作させたい場合は、日～土曜日に日間パターン0を設定してください。この場合、出力動作は年間プログラムで行います。



7-4 年間プログラム


- 祭日、年末、年始、夏休等、曜日と無関係に動作させたい月日に対して設定できます。
- 1年366日が設定可能なので、週間プログラムを使用しないで、年間プログラムのみの動作も可能です。
- 年間プログラムは週間プログラムに優先して動作します。
- 出力チャンネルごとにプログラムが設定できます。

図5-1



7-4-1 年間プログラムの設定

図5-2

・図中の  部分は点滅を表します。

例 8月10日の1CHに日間パターン1を設定する場合

●操作手順

- ①「項目」キーで年間のLEDを点灯させてください。
 - ・1CHのLEDが点滅します。(図5-1)
 - ・変更したいときは「▲」「▼」キーで出力CHを合わせてください。
- ②「▷」キーを押してください。
 - ・月の設定部が点滅します。
- ③「▲」「▼」キーで“08”月にし(図5-2)「▷」キーを押してください。
 - ・日の設定部が点滅します。
- ④「▲」「▼」キーで“10”日にし、(図5-3)「▷」キーを押してください。
 - ・日間パターン表示部が点滅します。
- ⑤「▲」「▼」キーで日間パターンを“1”にし、(図5-4)「登録」キーを押してください。
 - ・設定していたチャンネルのLEDが点滅します。(図5-5)
- ⑥①～⑤の操作に準じて他の月日、他のチャンネルを設定します。

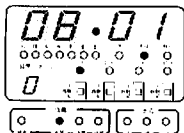


図5-3

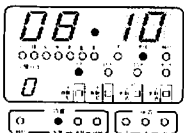


図5-4

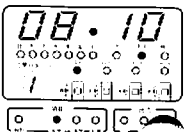
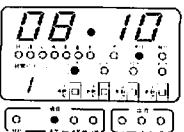


図5-5



7-4-2 年間プログラムの表示

●操作手順

- ①「項目」キーで年間のLEDを点灯させてください。
・1CHのLEDが点滅します
- ②「▲」「▼」キーで表示したいチャンネルを選んでください。
- ③「表示」キーを押すごとに年間プログラムが設定されている日日の早い順に、日間パターン番号と出力CHのLEDを表示します。



7-4-3 年間プログラムの消去

●操作手順

- ①「年間プログラムの表示」に従い消去したいチャンネルと月日を表示させてください。
- ②「▶」キーを押して、日間パターンEとその日に設定されている日間パターン番号を交互位に点滅させて「登録」キーを押すとその設定内容は消去されます。

7-5 全プログラムの消去

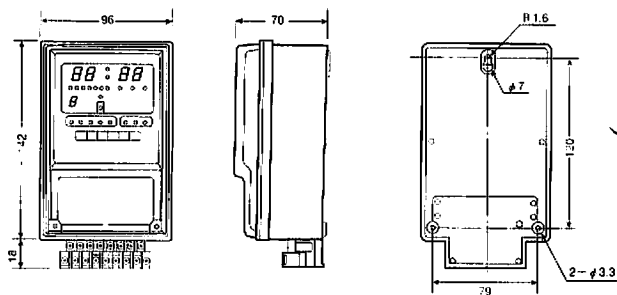
- 「登録」キーを押した状態で「R」キーを押した後に離し、次に「登録」キーを離すと、日間、週間、年間、時計の全プログラムを消去することができます。

👉 手動操作

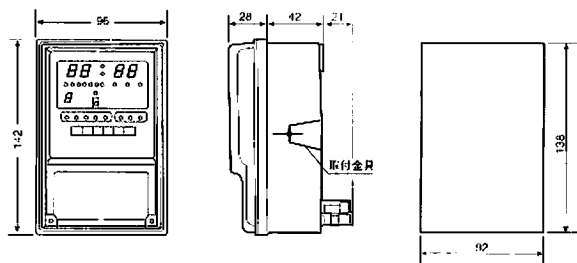
- 手動操作は出力回路ごとの動作チェック用に使用できます。
- 各出力チャンネルごとに自動/入/切のスイッチがあり、「入」にすると設定されているプログラムとは無関係に出力をONし、「切」にすると出力はOFFします。(出力チャンネルのLEDは変化しません)
- 通常動作中、出力チャンネルのLEDは設定されているプログラムにより接点出力がONの時に点灯します。

9. 外形寸法図

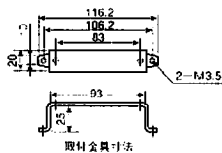
○表面取付形



○埋込取付形



パネルカット寸法



10. 停電補償について

○停電補償は内蔵リチウム電池により、停電時間5年間（25℃において）に渡ります。

①停電中の動作

- 表示は消灯します
- 出力回路は〈切〉の状態になります。
- 時計機能は動作しています。
- 設定プログラムは保護されています。

②停電時の動作

- 自動的に、停電前に設定されているプログラムに従って動作します。

11. 構成

本体	TYE-J1YD, TYE-J2YD, TYE-J4YD	TYE-J1YDV, TYE-J2YDV, TYE-J4YDV
付属品	木ねじ3本	取付金具 1個 金具取付ねじ 2本 取付ねじ 2本
添付書類	取扱説明書1部	取扱説明書 1部

12. 保証期間

○納入品の保証期間は、ご注文のご指定場所に納入後1年といたします。

13. 仕様

型制	制御方式	名式	TYE-J1YD	TYE-J1YDV	TYE-J2YD	TYE-J2YDV	TYE-J4YD	TYE-J4YDV
電源	定格電圧	全電子式 24時間十週間十年間制御						
	許容電圧変動	AC100V・AC200V共用 (端子選択)						
	電源周波数	定格電圧の±15%以内						
	停電補償	5年間 (リチウム電池方式)						
	消費電力	約3VA (AC230V, 60Hz印加時)						
	回路構成	無電圧c接点1回路	無電圧c接点2回路	無電圧c接点4回路				
仕様	抵抗負荷	AC250V 3A						
	誘導負荷	AC250V 1A (cosφ=0.4以上)						
	最小適用負荷	DC 5V 10mA						
設定	設定内容	年, 月日, 時分, 曜日 最少設定間隔1分						
	設定パターン	日間動作9パターン・サイクル動作1パターン						
	設定回数	日間動作は最大8パターン (1パターンはON・OFF合計最大60回)						
時計精度	月差±15秒 (周囲温度25℃において)							
使用温度・湿度	-10~50℃ 85%以下							
重量	約580g							
取付方法	表面取付	埋込取付	表面取付	埋込取付	表面取付	埋込取付	表面取付	埋込取付



お願い

記事内容は、設計変更その他の理由により、ご連絡申し上げることなく変更させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
ご不明な点は下記へお問い合わせください。

大崎電気工業株式会社

本 社 〒141 東京都品川区東五反田2-2-7

電話(03)3443-7171(代表)FAX(03)3443-0265

システム・機器営業部 第3課 電話(03)3443-7177

大阪支店 電話(06) 373-2556

FAX(06) 375-0681

札幌営業所 電話(011)251-6622

FAX(011)210-0258

仙台営業所 電話(022)223-3747

FAX(022)223-8159

北関東営業所 電話(048)653-5901

FAX(048)660-3599

千葉営業所 電話(043)221-5714

FAX(043)221-7283

横浜営業所 電話(045)664-5561

FAX(045)664-5454

広島営業所 電話(082)243-1611

FAX(082)243-9039

沖縄営業所 電話(098)832-7406

FAX(098)836-8655

取扱店